

分野：⑧ 3R

## 「ECO TODA project」

環境アドバイザー 牧野 真知子

対象 戸田市立戸田第一小学校 (164名) 所要時間  95分

場所 戸田第一小学校 4年2組教室 実施時期 令和2年9月18日

## 概要

ごみを減らすのには、どうしたらいい？  
3R知ってる？何が大事？  
ごみ問題  
世界を見てみよう

プログラムの  
ねらい

リサイクルする事で分かる事  
ごみを分別する事で資源になり、再利用できる。自然を守る事が出来る

## プログラムの内容

クジラのおなかの中、アホウドリのおなかの中の写真を見る。死亡原因は餓死。

海洋ごみの現状を知り、リサイクルの話をする。

ジャパンビバレッジの会社の活動を紹介。

リサイクルで出来た製品の紹介。

リサイクルマークに沿った商品紹介。トウモロコシのカップ、植木鉢など。

## まとめ

戸田市の現状。

実際に分別を実施。持ってきた資源ごみを、分別名のシート毎に、班ごとに適していると思われるものを、指定袋に入れに行き、最後に答え合わせと、間違えの理由を解く。

間違えやすいものは、ペットボトル。シールとキャップを取り、つぶして出す。

混ぜればごみ、分ければ資源。できる事をしよう。

## 受講者の反応

先生が分別用に用意した袋に子ども達が家から持参したリサイクルごみを入れていき、その答え合わせを一緒にすると、驚いたり感心している様子が見られた。

予想していたよりも衣類のごみを持参する子どもが少なく、こちらで準備していった衣類をたたんで出すことなどを説明すると熱心に聞いていた。



# 環境学習の様子（写真） ※表面に写真を掲載している場合は不要





分野：⑧3R

## ECO TODA project「3R」

環境アドバイザー

神山 裕則

対象 戸田第1小学校4年生（164人）

所要時間



95分

場所 4年2組の教室

実施時期

令和2年9月18日

## 概要

- ・ゴミ問題について、話
- ・リサイクル（3R）
- ・世界とつながっている

プログラムの  
ねらい

「混ぜればゴミ、分ければ資源」  
分別をしっかりやる児童にする。

## プログラムの内容

## 1. 導入

## 世界のゴミ問題

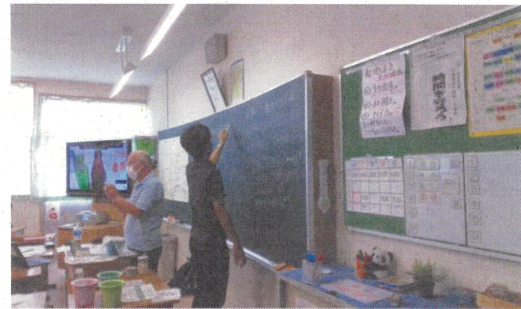
- ・タイに流れ着いたクジラ
- ・日本のアホウドリ
- ・マイクロプラスチック

## 2. リサイクルしている会社（ジャパンビバレッジ）

- ・缶コーヒーメーカーが自社で、リサイクル施設を持ち、資源を回している例。
- ・リサイクル商品の紹介
- ・世界とつながっている。（ボルネオのパームヤシ生きもの達が絶滅危惧種になっていること）
- ・一人でも、行動を。グレッタさんの話。

## 3. まとめ

「混ぜればゴミ、分ければ資源」



## 受講者の反応

自分の生活が、世界とつながっていることがわかった。  
ゴミの分別をきちんとしたいこと。